

第 56 回 おんぞ奉獻団 参加者大募集

～神主さんと行く伊勢の神宮～

主催 初生衣神社

初生衣神社では、伊勢神宮へ御衣（絹織物）を奉獻しております。途絶えた時期もありましたが、昭和 43 年からは毎年奉納しています。コロナ禍で 2 回は郵送、昨年は代表者で奉納しましたが、今年からは例年通り奉獻団を結成しバスでの奉納を再開します。神主さんと一緒に、一般では入れない場所でのお参りや体験、普段なかなか聞く事が出来ない神主さんの話を聞いてみませんか？参拝が病みつきになり毎年参加している参加者もいますよ（笑）！さあ宮司と共に伊勢神宮へ参拝しましょう。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



日 程：令和 5 年 5 月 15 日（月）～ 16 日（火）

お申込：令和 5 年 4 月末まで（定員になり次第、締切り）

服装等：男性は背広とネクタイ、女性はそれに準じた服装

参加費：ひとり 28,000 円（男女別相部屋料金）

一 日 目	浜松駅バンビツアー乗場＝浜松西インター駐車場＝濱名惣社神明宮＝三ヶ日 IC＝〈東名・伊勢湾岸高速〉＝ 6:50 発 7:30 発 8:00 発 刈谷 PA(休憩・合流)＝伊勢西 IC＝伊勢神宮 内宮(おんぞ奉獻式、昼食、御垣内参拝、神楽奉納) 9:10～9:40 12:35～15:00 ＝外宮(参拝)＝倭姫宮(参拝)＝猿田彦神社(正式参拝)＝神宮会館[泊] 15:10～15:40 15:50～16:00 16:10～17:00 17:10 着 電話 0596-22-0001
二 日 目	神宮会館＝伊勢西 IC＝〈伊勢自動車道〉＝南宮大社(正式参拝)＝天近本店(日本料理の昼食) 8:30 発 11:00～12:00 12:30～13:30 ＝奥の細道結びの地記念館(観光)＝浅野燃糸エアーカーおる本丸(見学・買物) 13:45～15:00 15:15～16:00 ＝〈東名高速〉＝三ヶ日 IC＝濱名惣社神明宮＝浜松西インター駐車場＝浜松駅バンビツアー乗場 18:00 着 18:30 着 19:10 着

◎お申込み・お問合先：初生衣神社 宮司 鈴木栄男 まで

電話 090-4194-0539 又は Fax 053-525-1771

◎旅行代金振込先：静岡銀行 三ヶ日支店 普通預金 0374938 ※振込手数料はご負担ください

口座名義 初生衣神社代表役員 鈴木栄男(ウブギヌジンジャ ダイヒョウヤクイン スズキシゲオ)

◎取扱旅行会社：太陽観光株式会社

----- キリトリ -----

■第 56 回 おんぞ奉獻団 申込書

(ふりがな) 氏名	住 所	電話番号	年齢	性別	希望乗車地
			歳	男・女	
			歳	男・女	

※乗車地の駐車希望 () 台

伊勢神宮・内宮（こうたいじんぐう皇大神宮）

御祭神は、皇室の祖先神であり、日本人の総氏神としてあがめられる天照大御神（あまてらすおおみかみ）です。天照大御神は太陽にもたとえられ、約 2000 年前にこの地にご鎮座されました。尚、早朝参拝は、朝の清々しい空気と静寂な雰囲気です。非日常を体験してみませんか？



伊勢神宮・外宮（とようけだいじんぐう豊受大神宮）

125 社からなる神宮の 2 つの御正宮の 1 つで、食と産業の神様・豊受大御神（とようけのおおみかみ）が御祭神です。内宮の天照大御神の食事を司る神様として、今から約 1500 年前にこの地にご鎮座されました。

倭姫宮（やまとひめみや こうたいじんぐうべつぐう皇大神宮別宮）

神宮・内宮の別宮で、2000 年以上前に天照大御神を伊勢にお連れになった倭姫命（やまとひめのみこと）が御祭神です。倭姫命は第 11 代垂仁（すいにん）天皇の皇女です。天照大御神のご鎮座の地を求め各地を巡幸され、伊勢の国に入ると、天照大御神から「ここにしようと思う」という御神託を受けられました。そして現在の場所・五十鈴川のほとりに、内宮（皇大神宮）を創建されました。

猿田彦神社

猿田彦大神（さるたひこおおかみ）はみちひらきの大神といわれており、日本神話における天孫降臨の際に、天照大神の命を受けた瓊杵尊（ににぎのみこと）を高千穂へと導きました。学業や仕事をいい方向へと導いてくれるというご利益で、ご本殿の手前にある「方位石」はみちひらきの御神徳を表す八角形になっています。境内社に佐瑠女（さるめ）神社があり、芸能上達や縁結び等の信仰があつた天宇受売命（あめのうずめのみこと）が御祭神で芸能人を始め、著名な方々もお参りしています。



南宮大社（なんぐうたいしゃ南宮大社）

美濃の国の一の宮。「鉦山・金属業の総本宮」として深い崇敬を集めています。慶長 5 年（1600 年）の関ヶ原の合戦で全社殿を焼失しますが、寛永 19 年（1642 年）、將軍徳川家光によって再建されました。和様と唐様を折衷した独特の「南宮造」と呼ばれる建築様式で、建造物 18 が国の重要文化財に指定されています。



奥の細道結びの地記念館

俳人・松尾芭蕉は江戸深川を旅立ち、約 5 か月をかけて全行程約 2400 キロメートルを旅して大垣で紀行を終えました。歴史と文化が息づくこの”むすびの地・大垣”に、『奥の細道むすびの地記念館』がオープンし、奥の細道の解説、芭蕉の人となりや旅に生きた人生を紹介しています。



浅野燃糸エアーかおる本丸（あさのねんし浅野燃糸エアーかおる本丸）

浅野燃糸は高度な技術やノウハウを活かし、特殊燃糸工法（特許取得）を使った高機能タオル「エアーかおる」の開発に成功しました。吸水力抜群のタオルは大人気となり、カンブリヤ宮殿やガイアの夜明けなど、様々なテレビ番組で取り上げられました。工場見学と直営店に立ち寄ります。